

神奈川県教育委員会と課題解決型学習の共同研究に関する協定を締結 公開授業を10月6日に開催します

株式会社LoiLo（以下弊社）は平成28年10月に神奈川県教育委員会との協定を締結し、平成29年4月より課題解決型学習（PBL）の共同研究を開始しました。

本共同研究は、SSH認定校の神奈川県立横須賀高等学校において実施します。課題解決型学習（PBL）から従来の教科教育に繋がるカリキュラムを作成し、生徒たちの学ぶ意欲を高め続ける方法論を確立することを主目的としております。それを実現するためにロイロノート・スクールが持つ、学びを蓄積して再構成する機能を活用していきます。

課題解決型学習（PBL）は、2020年の大学入試改革の大きな目的でもある、問題を発見し課題解決できる人材育成により世界のリーダーを作る、という方針に沿って行っています。

弊社は授業で使用するタブレットの貸与を始め、授業支援アプリ ロイロノート・スクールの導入、機能の追加、授業へのアドバイスなど全面的な支援を行います。

● 公開授業

この共同研究の成果をご体感いただくために10月6日（金曜日 午後）に公開授業を予定しています。

ご参加いただき共同研究の成果を共有いただければと考えております。お申し込みは以下よりお願いいたします。

（参加申し込みWEB：<https://goo.gl/5YFdjh>）但し、神奈川県立高等学校の教職員の方々は、別途、横須賀高等学校から案内がありますので、そちらからお申し込みください。



<画像ダウンロード先> <https://goo.gl/iFWp0d>

● 神奈川県教育委員会よりコメント

横須賀高等学校は、平成28年度より文部科学省からSSH（スーパーサイエンスハイスクール）の指定、神奈川県教育委員会から理数教育推進校の指定を受けています。同校ではプリンキピアというPBLを主体とした学校設定科目を設置し、ロイロノート・スクールを活用して主体的、協同的に探究する学びに取り組んでいます。PBLは、生徒がこれからの時代を「生きる力」を育む上で有効です。神奈川県においても、SSHや理数教育推進校を中心に授業に取り入れています。

● 神奈川県立横須賀高等学校 九石校長先生よりコメント

平成28年にSSHに指定された神奈川県立横須賀高等学校では、「科学リテラシーと国際性の育成」をねらいとして、全教科の授業で論理的思考力の育成をめざし授業改善を行っています。SSHの課題研究では教科学習における基礎的な知識・技能を活用することで思考力を深め、かつ課題研究に必要な知識を自ら先取りして獲得していくといった「知の循環」を活性化したいと考えています。情報収集、比較・対照、因果関係、論理構成等の思考スキルは、次期学習指導要領や大学入学者選抜入試改革でもいっそう重視されることから、このような学習活動に有効な学習ツールとしてロイロノート・スクールの活用研究を始めました。進路指導・学習指導としての未来志向の取組みはスタートしたばかりですが、ご覧いただき情報交換をしていただければ幸いです。

● ロイロノート・スクールについて

<https://n.loilo.tv/ja>

ロイロノート・スクールは、これからの教育に必要とされる、主体的な学びに最適なタブレット用授業支援アプリです。圧倒的なシンプルさで、先生の授業アイデアをすぐに実現することができます。簡単に自分の思考をまとめ、発表することができるので、生徒が自ら考え表現する機会を増やすことができます。 何度も自分の言葉で説明することで自信が付き、「思考力」「判断力」「表現力」が育ちます。そして、その双方向型授業による成果が、全国で数多く報告されています。

お問い合わせ先 株式会社ロイロ 担当：杉山浩二 TEL: 045-228-9446 MAIL: loilo@loilo.tv

神奈川県横浜市中区南仲通4丁目43番 馬車道大津ビル403号

*本リリースに記載されている会社名、製品名は、各社の登録商標または商標です。